

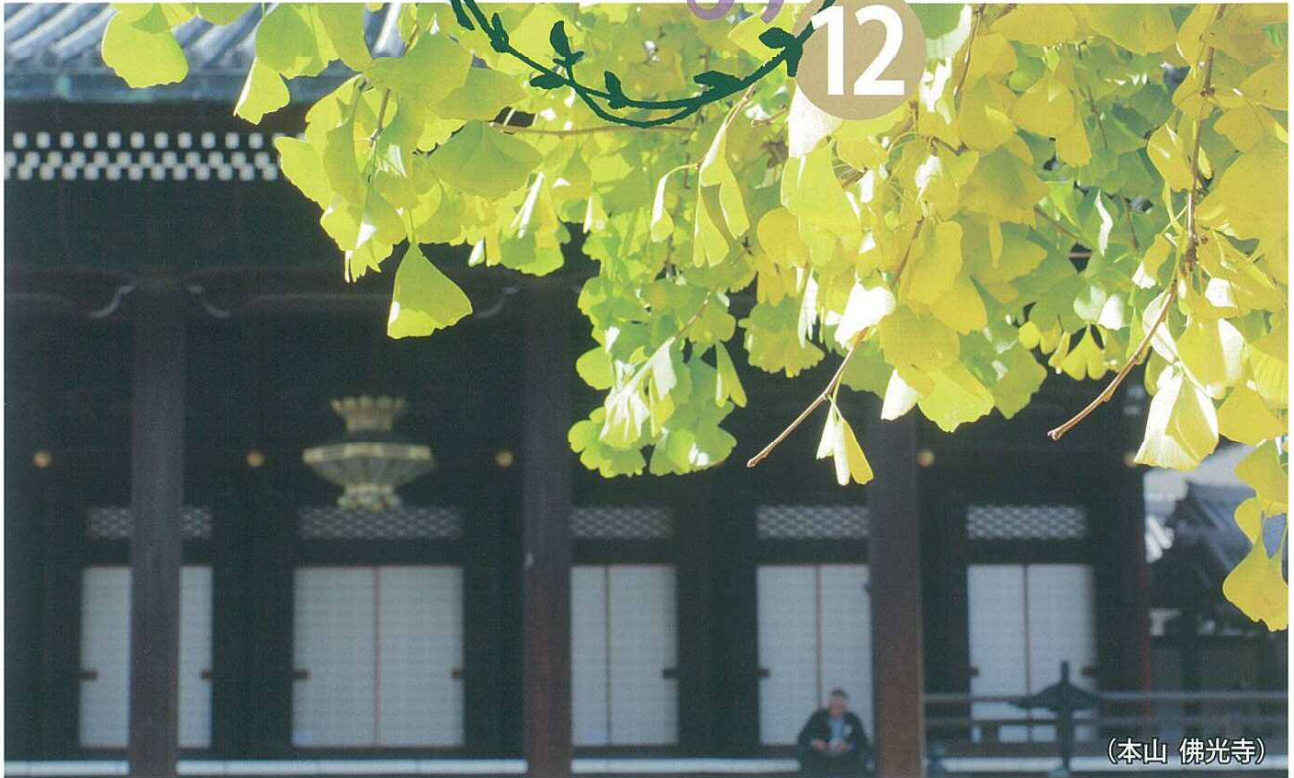
南無阿弥陀仏は  
私のいのち



平成 27年  
12月号

NO.  
455

〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
<http://saitokuji.tobihiro.jp/>  
印刷 日生印刷(株) 03-6863-3263



(本山 佛光寺)

## 食わず嫌い

ある日、食膳に向かい我が子が「私これ嫌い」と言った。何気なく「食べたことあるの?」と問い返すと「ない」と即答。気が付けば「食べる前からあれこれ言うな、食べてから言え!」。激怒する自分が出た。

「好き嫌い」と「食わず嫌い」は違う。食わず嫌いとは過去の経験を当てはめイメージを勝手に作り上げ、食べる前から決めつける。

人に対しても同じだ。交わる前からイメージを作り上げる。さらにその勝手な妄想をあたかも出遇ったことにすり替える。そういう意味では情報や知識、個人的経験は諸刃の剣になりかねない。特に現代人は自分で作り上げた仮想空間に閉じ込められているのではないだろうか。それは出遇いを逃し、感動や驚きを逃していることに他ならない。

「日々初事」という言葉がある。それは仮に、昨日食べてマズイと感じても、今日食べたら違うかもしれないと口にする意欲を表す言葉だと受け取っている。

もしかすると苦手な人は自分が作り上げたイメージに過ぎないのではないだろうか。今日顔を会わせることが出遇いの初事として頂けるだろうか。「今日」と勝手にレッテルを貼っていないだろうか……。そこに不安を感じた時、新鮮さを求める「日々初事」という飽くなき魂が食わず嫌いな自分を照らし出す。

(山崎 哲記)

# 平成28年 西徳寺のあゆみ



(予定を変更する場合があります)

## 1月

元旦(金) 修正会  
9日(土) 合唱団エコー練習  
10日(日) 婦人会新年会  
16日(土) 定例聞法会  
17日(日) 評議員会新年会  
19日(火) 『唯信鈔』に聞く  
23日(土) 同行会新年会・合唱団エコー練習  
26日(火) 仏教青年会

## 2月

6日(土) 合唱団エコー練習  
7日(日) 城東ブロック会聞法会  
13日(土) 同行会  
17日(水) 婦人会聞法会  
20日(土) 定例聞法会・合唱団エコー練習  
21日(日) 城南ブロック会聞法会  
23日(火) 『唯信鈔』に聞く・仏教青年会座談会  
27日(土) 同行会

## 3月

5日(土) 評議員会定例役員会・  
合唱団エコー練習・同行会  
6日(日) 城北ブロック会聞法会  
8日(火) 仏教青年会レクレーション  
9日(水) 婦人会聞法会  
12日(土) 定例聞法会・合唱団エコー練習  
17日(木)～23日(水) 春季彼岸会  
22日(火) 聖徳太子奉讃会・本山特派布教・  
春季永代経法要  
26日(土) 同行会修習式  
27日(日) 中央ブロック会聞法会

## 4月

9日(土) 同行会総会  
16日(土) 定例聞法会  
23日(土) 同行会  
26日(火) 仏教青年会総会  
27日(水) 婦人会総会

## 5月

14日(土) 同行会  
15日(日) 城南ブロック会総会  
21日(土) 定例聞法会  
24日(火) 仏教青年会  
25日(水) 婦人会聞法会  
28日(土) 同行会  
29日(日) 城西ブロック会総会

## 6月

3日(金) 評議員会定例役員会  
4日(土)・5日(日) 仏教青年会研修旅行  
11日(土) 同行会  
12日(日) 城北ブロック会総会  
15日(水) 婦人会聞法会  
18日(土) 定例聞法会  
19日(日) 評議員会総会  
25日(土) 同行会  
26日(日) 城東ブロック会総会

## 7月

2日(土) 同行会  
13日(水)～16日(土) 孟蘭盆会  
(10日よりお盆のお参りに伺います)  
24日(日) 中央ブロック会聞法会  
26日(火) 仏教青年会夏季ミーティング

## 8月

13日(土)～16日(火) 孟蘭盆会  
28日(日) 青年会主催バーベキュー大会

## 9月

3日(土) 評議員会定例役員会  
10日(土) 同行会  
13日(火) 仏教青年会  
14日(水) 婦人会聞法会  
17日(土) 定例聞法会  
19日(月)～25日(日) 秋季彼岸会  
21日(水) 秋季永代経法要

## 10月

8日(土) 同行会  
9日(日) 中央ブロック会総会  
15日(土) 定例聞法会  
16日(日) 城東ブロック会聞法会  
19日(水) 婦人会聞法会  
22日(土) 同行会  
23日(日) 城南ブロック会聞法会  
25日(火) 仏教青年会座談会

## 11月

5日(土)・6日(日) 報恩講  
9日(水)・10日(木) 婦人会旅行(予定)  
12日(土) 同行会  
13日(日) 城西ブロック会聞法会  
15日(火) 仏教青年会報恩講  
19日(土) 定例聞法会  
20日(日) 城北ブロック会聞法会

## 12月

10日(土) 同行会  
17日(水) 定例聞法会・  
評議員会定例役員会  
21日(水) 婦人会聞法会  
31日(土) 歳暮法要

# 親鸞さんのことば

慈悲に聖道・浄土のかわりめあり。  
聖道の慈悲というは、  
ものをあわれみ、かなしみ、はぐくむなり。  
しかれども、おもうがごとくたすけとぐること、  
きわめてありがたし。

『歎異抄』

松井憲一

仏教では、慈と悲を分けて、慈はいつくしむことで樂を与えるところ「与樂」であり、悲は悲しみにふれることで悲しみがやわらぐから、苦を抜くところ「抜苦」であるといわれます。ここでは、その慈悲について「聖道の慈悲」と「浄土の慈悲」の二つがあるというのではなく、自分の努力で慈悲を尽くそうとすると、かわりめが出てくるといわれます。

「ものをあわれみ、かなしみ、はぐくむ」慈悲は、間柄を生きるわたしたちの大切な感情です。しかし、その内実は、おおむね生きとし生ける「もの」という広がりがなく、（わが「もの」に対する、近親への狭いあ

われみ、かなしみ、はぐくむになつています。だから、「自立せよ 相談しての 親心」というような矛盾をかかえて、早めの世代交代をしたのに、大事なことの相談を一言も受けなかつたと不満を漏らします。

スマートホンを見たり眠っている人の多い電車の中で、若い人が席を代わってくださいました。本当に有難かつたが、同時に年寄りに見られてくやしかつたという人もいます。車内で老人が前に立たれて、隣の人に「若いのに代わつてあげなさい」と叱られて立ち上がったら、老人が「あなたお腹に赤ちゃんがいるんでしよう。大事にしてね。私は次の駅で降りますから」といわれて、気まずい空気が漂つたという話もあります。

自分の思いであれば、いかにあわれみ、かなしみ、はぐくんでも、うまくいけば自己満足、うまくいかなければこれだけ大事にしたのという恨みつらみが残つて、孤独になります。してあげるといふ所有の意識と慢心がある限り、ものをあわれみ、かなしみ、はぐくむ慈悲は徹底しませんが、医者や自分の子どもを手術で

きないし、お坊さんも自分の親や子の法事の導師はしません。それは如何に身近な人をあわれみ、かなしみ、はぐくんでも、おもうがごとくたすけ尽くすことができないことをあらわすのでしよう。

親鸞聖人は、念仏申す身になつて流罪になられた時、飢饉のひどさに、三部経の千部読誦で人々をたすけようと思い立たれましたが、中止されました。しかし、衆生利益への思いは深く、それから十七、八年たつて風邪熱の中でお経を読む夢を見て「人の執心、自力の心は、よくよく思慮あるべしと思ひなして後は、経読むことは止りぬ（『惠信尼消息』）と奥さんの惠信尼公が手紙に書いておられます。

このあわれみ、かなしみ、はぐくみ尽くせない現実の懺悔において、わたしの全体を悲しんでいる大きな眼差しに出遇う。それが、聖道の慈悲のかわりめとして開ける、浄土の慈悲です。それで、聖人は「今生にいかんいとおし不便とおもうとも、存知のごとくたすけがたければ、この慈悲始終なし。しかれば、念仏もうすのみぞ、すえとおりたる大慈悲心にて

そうろうべき」（『歎異抄』）といわれるのです。

それは、ものをあわれみ、かなしみ、はぐくむ身から、あわれみ、かなしみ、はぐくまれていた身への転換です。この浄土の慈悲へのひるがえりは、南無阿彌陀仏の信心、頭のあげようのない廻心を賜るのです。浄土の慈悲は、まず自分が無条件であわれみ、かなしみ、はぐくまれていた感動において、ご縁のままに念仏しつつ「ものをあわれみ、かなしみ、はぐくんでいける慈悲なのでしよう。



(鴨川)

# 山門の言葉

## 家庭そのものが めざめていく道場なのである

足利 浄圓



これは、かつて法語カレンダーの表紙を飾った言葉である。

先月勤まった西徳寺報恩講において、隅谷布教使から「生活の中の念仏」と、「念仏の中の生活」という言葉を教えていただいた。

「生活の中の念仏」という言葉は、合格祈願や家内安全等、念仏が私たちの生活の中で一つの手段として用いられる。そのように捉えることができるだろう。

では、「念仏の中の生活」はどうだろうか。私たちの生活全体が念仏によって摂め取られている。そのような感覚が私たちにはあるだろうか。

私事ではあるが、十月に結婚をし、新しく家庭をもつようになった今だからこそ、この言葉が気になった。

お念仏の教えは、自己に目覚めることだと教えられる。「念仏の中の生活」とは、言い換えるならば、生活全てが、自己に目覚めるきっかけとなるといえるだろう。会社や学校、家庭において、私たちはさまざまな関係性の中を生活

している。その生活の中で、最も身近にあり、最も小さい単位が家庭である。

生まれた境遇も違えば、育ってきた環境も違う者同士が、寝食を共にするということは、味付けの濃い薄いや洗濯物のたたみ方、生活のリズム等、例を挙げればキリがないが、今まで通りの生活が続けようとすれば、相手と衝突して、険悪なムードになることは周知のことである。

そのことに気がついて、自分の態度を素直に正せばいいのだが、味付けに注文をつけ、あれやこれやと注文ばかりで、全く自分を省みようとしないのが、私たちの在り方ではないだろうか。

お念仏の利益とは、煩い悩みがなく、清らかな人間になるのではなく、具体的な生活の中で、どこまでも自分勝手にしか生きられない、またそのことに全く無自覚である、この身の事実が明らかになることである。その事実を一番具体的に、生々しく照らし出される道場が、家庭なのではないだろうか。

(蓮井 邦宗 記)

### 日誌

- |            |   |
|------------|---|
| 10月21日     | 婦人会聞法会                                      |
| 10月24日     | 社交ダンス練習会・混声合唱団「エコー」練習・同行会「現代の聖典」に聞く 法話 木村主任 |
| 10月25日     | 城南ブロック会聞法会 (三茶しゃれなあど 参加者17名)                |
| 10月27日・28日 | 宗祖忌   |
| 10月27日     | 仏教青年会座談会                                    |
| 10月28日     | 仏具磨き (参加者12名)                               |
| 10月31日     | 社交ダンス練習会・混声合唱団「エコー」練習                       |
| 11月7日・8日   | 報恩講 両日布教使 隅谷 俊紀師<br>中興忌                     |
| 11月10日     | 責任役員会・総代会                                   |
| 11月14日     | 社交ダンス練習会・混声合唱団「エコー」練習・同行会「現代の聖典」に聞く 法話 山崎哲  |

# えこおとじ 婦人会だより

第 315 号



## 高尾山・うかい鳥山をたずねる

11月18日、26名で高尾山に向かいました。午前中、日も差してくれて紅葉を見ながらケーブルカーで上り、そこから薬王院まで登り、皆さんの健脚ぶりに驚きました。昼食は美しい佇まいの「うかい鳥山」で炭火焼きコースを頂き、雨に濡れた紅葉もしっとりと美しいものでした。午後は武蔵陵墓地の参詣です。400メートルの玉砂利を踏み締めながら両側には150本の北山杉が植栽されており厳かに手を合わせる気分にも雨も添えてくれました。(役員記)



【高尾山薬王院の紅葉】



【うかい鳥山にて昼食】

### 次回間法会ご案内

日時 平成27年12月16日(水)  
午後1時～3時  
場所 西徳寺 星月の間  
法話 標語カレンダーに聞く(真宗教団連合カレンダー)  
「十二のひかり放ちては あまたの国を照らします」  
代務住職 大谷 義博・山崎 哲

### 婦人会新年会のご案内

日時 平成28年1月10日(日)  
午前11時～午後2時  
場所 本堂(勤行・挨拶)、梅檀の間(懇親会)  
会費 2,000円  
申込開始 平成27年12月16日(水)  
申込締切 平成28年1月10日(日)

### ひとこと

本格的な寒さが近づき鳥たちの食べ物も少なくなると、毎年必ずやってくるのがひよどりめじろである。めじろはペアでやってくる。アロエの花の下からくちばしを入れて蜜を食べている。みかんも小さいくちばしで綺麗に食べる。目の周りが丸く白いのでめじろというのだと思う。とても可愛い。

めじろが周りを気にしながら食べていると、ひよどりがやってくる。何故か私はひよどりを追い払いめじろを守るのがいつものこと。一寸意地悪いと思いつつこれが四月の初め頃迄続く楽しい時期である。(太田 愛子)

## えこお志お礼

新潟県 廣海寺 様  
栃木県 大塚 静江 様  
京都府 東 靖磨 様  
台東区 森下 幸雄 様  
新宿区 兼松 秀夫 様



ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

# 掲示板

平成27年12月

- 5日(土) 午後6時 同行会「現代の聖典」に聞く  
法話 大橋 伊知郎
- 9日(水) 午後4時 総代会
- 12日(土) 午後1時 社交ダンス練習会  
午後3時半 混声合唱団「エコー」練習
- 16日(水) 午後1時 婦人会聞法会
- 17日(木) 午後1時半 『唯信鈔』に聞く  
講師 宗 正元師
- 19日(土) 午後1時半 定例聞法会  
午後3時 評議員会定例役員会
- 31日(木) 午後3時 歳暮法要

## 綺麗なお荘厳で 報恩講が勤まりました!

ポカポカ陽気の中、10月28日(水)、12名の方々から「仏具磨き」のお手伝いをいただきました。ほとんどの方が経験者ということもあり、職員が説明をする必要がなく、速やかに作業が始まりました。表面の汚れを落とした後は、一つひとつ丁寧に仏具を磨き込んでいただきました。お磨きの外にも本堂の掃除や会館待合室の椅子を水拭きしていただきました。

午前中の作業が終わり、昼食はカレーライスに舌鼓。皆様と一緒に美味しくいただきました。

お陰様で「報恩講」は大勢のご参詣をいただき、ピカピカの仏具で飾られたお内陣でお勤めさせていただきました。ご協力、誠にありがとうございました。

(木村 専正 記)

### 【お手伝いくださった方々】 順不同

磨屋弘美様	橘悦子様	前田篤彌様
太田愛子様	金子佳子様	高寄勝子様
津久田愛之助様	猪口可津子様	柿沼一郎様
谷口博一様	鈴木弘子様	長尾将男様

## 京雅堂様から 高級湯飲み茶碗のご寄付

この度、日本橋人形町で漆器・食器の卸売業を営まれておられる京雅堂様より、高級湯飲み茶碗 100個のご寄付を頂戴いたしました。社長である柴田修様はお寺の評議員であり、城東ブロック会の役員としてもご活躍いただいております。誠にありがとうございました。

## 城東ブロック会

去る10月4日、小岩区民館におきまして、28名参加のもと、聞法会を行いました。大谷住職代務から、前回に引き続き、我々を生かすいのちとは何か、その問いが一番大事であり、一番見失われていることであるというお話をいただきました。

次回は**2月7日(日)**、**市川八幡神社社務所**におきまして、聞法会を行う予定です。皆様お誘い合わせの上でご参加下さい。(仲井 真裕 記)

## 城南ブロック会

去る10月25日(日)世田谷区「三茶しゃれなあど」に於きまして城南ブロック会聞法会を開催しました。参加者は18名で、初参加の方が1名でした。

大谷住職代務の法話後、質疑の時間には、多くの方から質問が出るような内容の濃いものになったかと思えます。引き続いての懇親会では、会員の皆様にとって、より仲が深まる場となったのではないかと感じております。

次回は**平成28年2月に聞法会を予定**しておりますので、皆様のご参加をお待ちしております。

(大橋 伊知郎 記)



## 編集後記

サザンカは秋から冬にかけて、どこか寂しい季節に花の彩りを与えてくれる、日本原産の美しい花木です。開花後には花びらが散って、辺り一面がサザンカの花びらで覆い尽くされる光景を目にします。

童謡の「たきび」の歌詞でもお馴染みで、1941(昭和16年)、NHKのラジオ番組「幼児の時間」で楽曲が発表され、1949年(昭和24年)には「うたのおばさん」で大衆に広まったといわれています。(主任 木村 記)

西徳寺ホームページアドレス:

[HP http://saitokuji.tobihiro.jp/](http://saitokuji.tobihiro.jp/)

ゆうちょ銀行お振り込み口座 00120-0-80670 名義 西徳寺

※「えこお」に対してのご意見・ご感想をお寄せ下さい。  
(メールでも結構です)

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)